

2025年3月期 第1四半期  
決算説明資料



松田産業株式会社  
2024年8月9日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社  
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

# 決算の概要（2025年3月期 第1四半期）



## 前年同四半期に比べ、売上高と営業利益、四半期純利益ともに増加

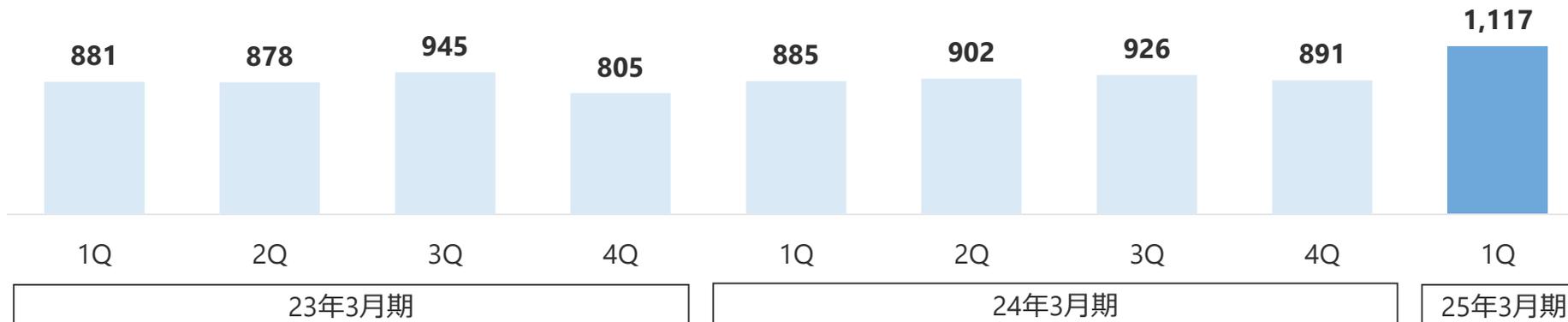
(億円)

	24年3月期 1Q実績	25年3月期 1Q実績	増減		25年3月期 通期見通し
売上高	885	<b>1,117</b>	+232	+26.2%	3,800
営業利益	24	<b>31</b>	+7	+29.3%	100
営業利益率	2.7%	<b>2.8%</b>	+0.1pt	-	2.6%
経常利益	29	<b>37</b>	+8	+28.0%	110
四半期純利益	20	<b>25</b>	+5	+27.6%	76
1株当たり四半期純利益 (円)	77.5	<b>99.5</b>	+22.0	+28.4%	293.2

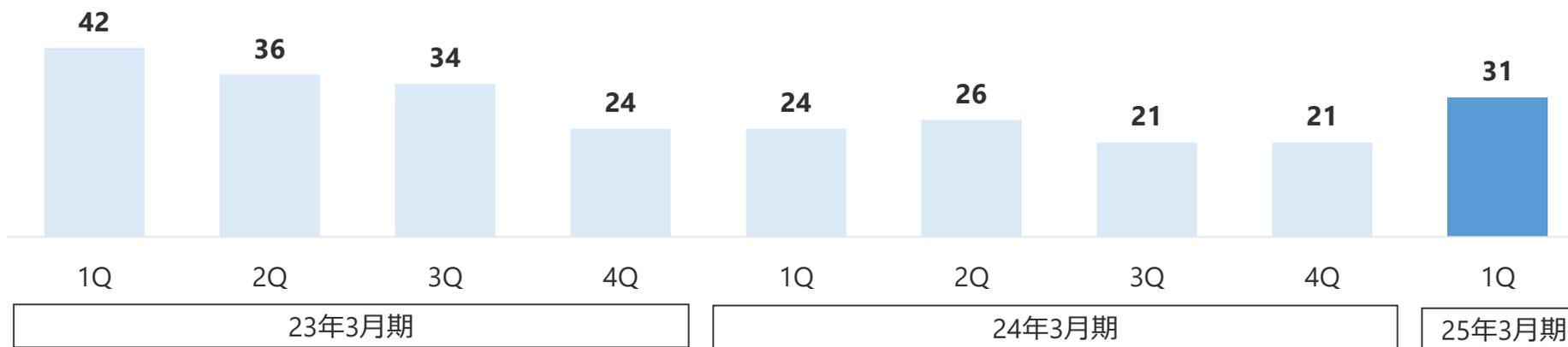
# 連結業績の四半期推移

(億円)

## 売上高



## 営業利益



# 連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	24年3月期末	25年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動資産	1,023	1,098	+75	(+) 売掛金、棚卸資産の増加
固定資産	466	478	+11	(+) 工場設備の新設 (入間)
資産合計	1,489	1,576	+87	
【負債の部】				
	24年3月期末	25年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動負債	445	508	+63	(+) 買掛金、短期借入金の増加
固定負債	130	125	▲4	(-) 長期借入金の返済
うち有利子負債	294	352	+58	
負債合計	575	634	+58	
【純資産の部】				
	24年3月期末	25年3月期 1Q末	増減	増減要因
純資産合計	913	942	+28	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,489	1,576	+87	
自己資本比率	61.2%	59.6%		

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	24年3月期 1Q実績	25年3月期 1Q実績	増減	25年3月期1Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	▲9	▲47	▲38	(+) 税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加 (-) 売上債権・棚卸資産の増加 (期末日休日影響43億円)
投資キャッシュ・フロー	▲23	▲14	+8	(-) 工場設備の新設、ソフトウェアの取得
フリー・キャッシュ・フロー	▲32	▲62	▲29	
財務キャッシュ・フロー	49	48	▲1	(+) 短期借入金の増加 (-) 長期借入金の返済、配当金の支払
現金及び現金同等物の増減	+18	▲11	▲29	
現金及び現金同等物の期末残高	135	132	▲2	

## セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、人工知能（AI）技術などに伴う新たな需要の兆しはあるものの全体的に需要の回復は進まず、半導体・電子部品等の生産状況は停滞が継続
- 宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量は増加し、金相場が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高と営業利益はともに増加

	24年3月期 1Q実績	25年3月期 1Q実績	増減	
売上高	599	<b>857</b>	257	+42.9%
営業利益	18	<b>24</b>	+6	+33.9%
営業利益率	3.0%	<b>2.8%</b>	▲0.2pt	-

(億円)

	25年3月期 1Q実績	増減		増減要因
金	<b>650</b>	+261	+67.3%	数量要因 +28.1%、価格要因+39.2%
銀	<b>62</b>	+21	+52.2%	数量要因+9.9%、価格要因+42.4%
白金族	<b>107</b>	▲19	▲15.4%	数量要因▲2.8%、価格要因▲12.7%
その他	<b>36</b>	▲5	▲13.7%	

## セグメント別の業績（食品関連事業）

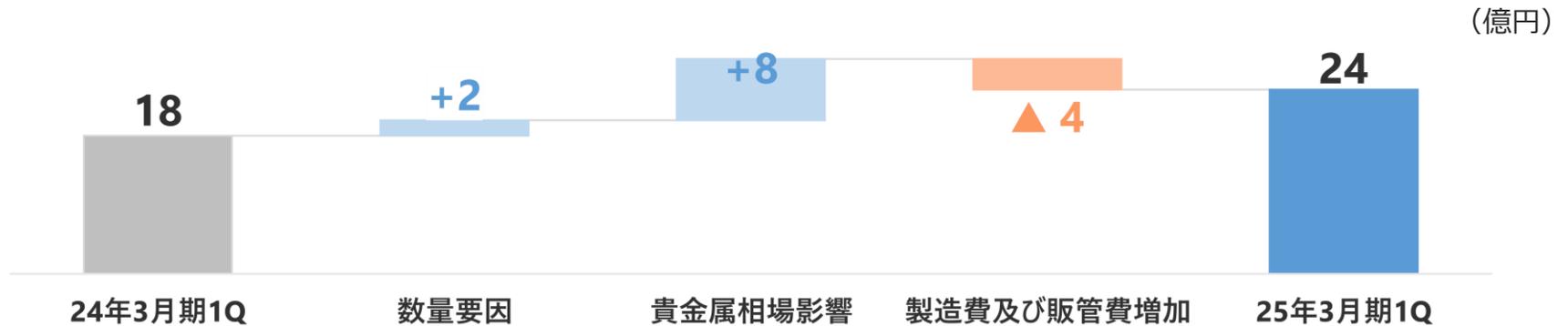
- 食品製造業界は、インバウンド需要は拡大したものの個人消費には弱さが見られ、原材料価格は落ち着きがみられたものの、円安影響や物流コストの上昇などから不安定な市場環境
- 水産品の販売量は増加したが、畜産品、農産品の販売量は減少し、全体的に販売価格が低下したことから売上高は前年同四半期に比べ減少、在庫回転率の向上によるコストの適正化に努め、営業利益は前年同四半期に比べ増加

				(億円)				
	24年3月期 1Q実績	25年3月期 1Q実績	増減		25年3月期 1Q実績	増減		増減要因
売上高	285	260	▲25	▲9.0%	水産品	103	+0 +0.9%	数量要因+5.0%、価格要因▲4.1%
営業利益	6	7	+0	+15.8%	畜産品	108	▲18 ▲14.8%	数量要因▲4.1%、価格要因▲10.7%
営業利益率	2.1%	2.7%	+0.6pt	-	農産品	35	▲1 ▲4.4%	数量要因▲6.1%、価格要因+1.7%
					その他	12	▲6 ▲32.9%	

## 営業利益の増減

- 貴金属関連事業は、電子デバイス分野の操業低下から数量面の改善は進まなかったものの、金・銀の相場上昇が貢献
- 食品関連事業は、販売量の増減にばらつきがあるものの、コスト適正化や商品構成の変化などで利益率を改善

### 貴金属関連事業



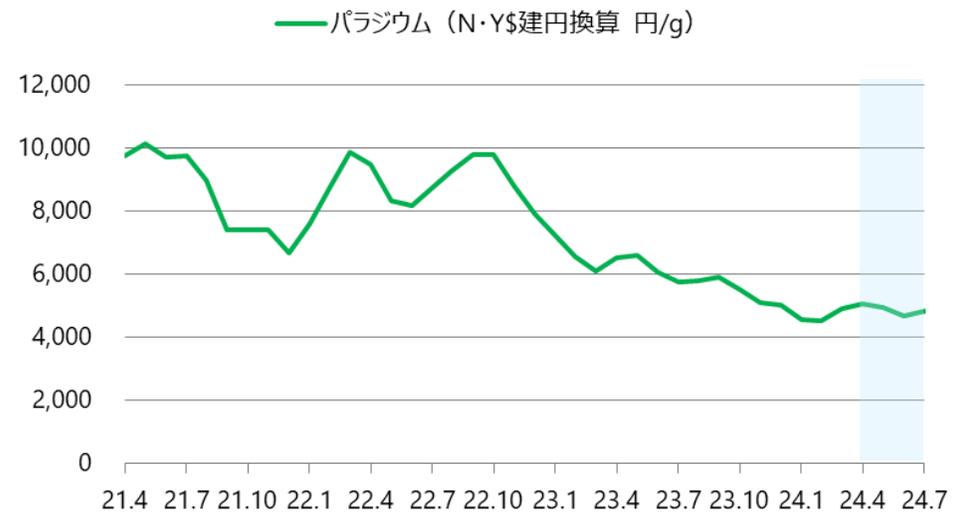
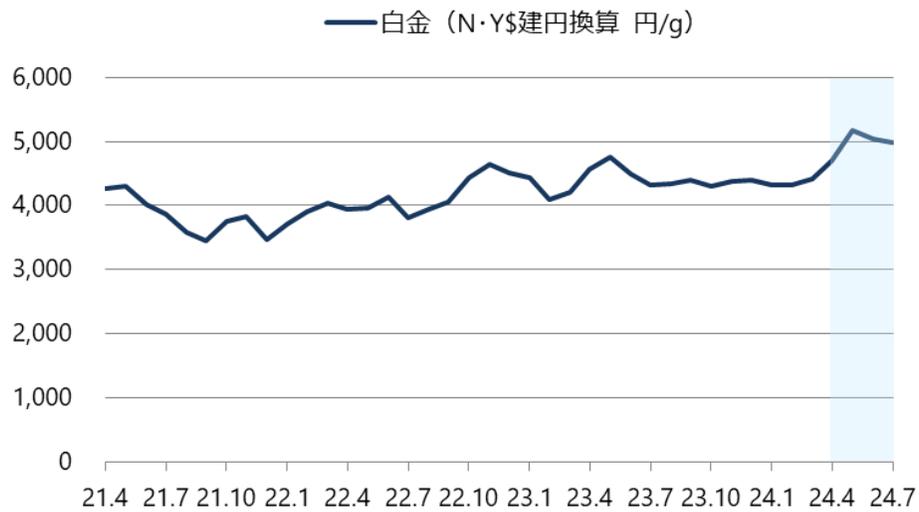
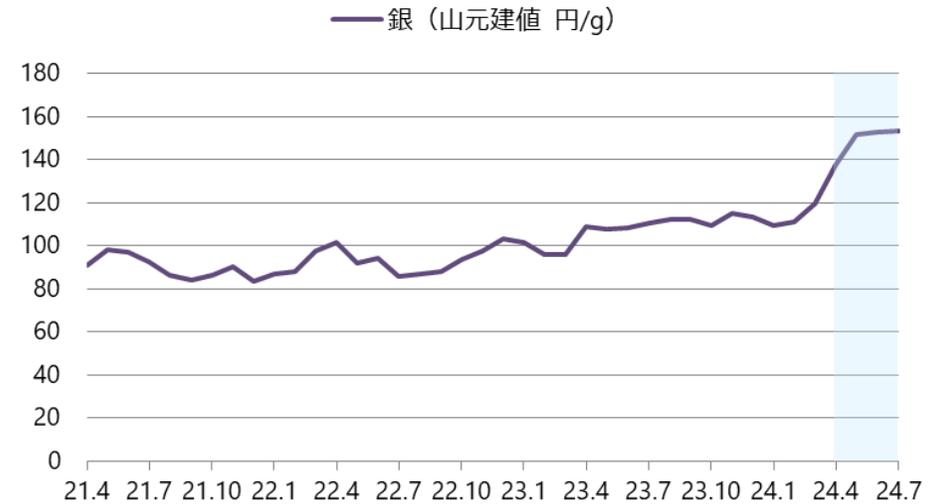
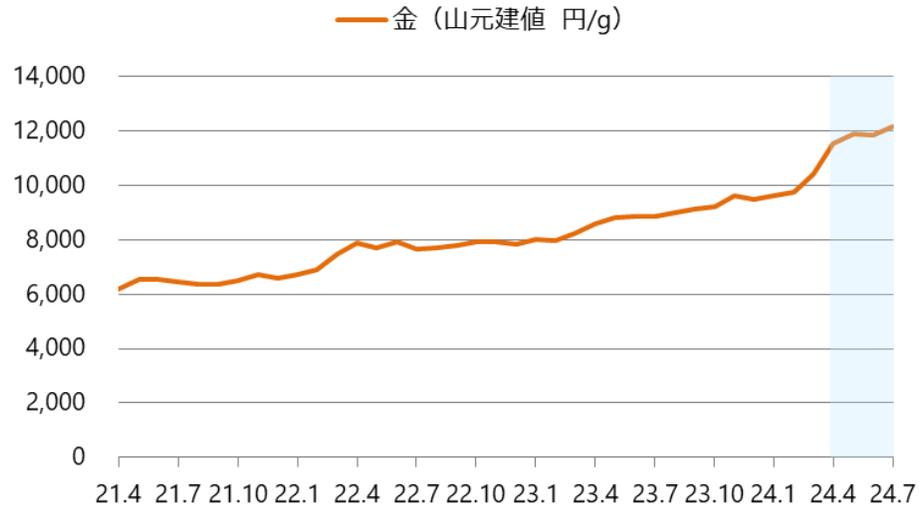
### 食品関連事業



# Appendix



# 貴金属相場の推移





**松田産業株式会社**

MATSUDA SANGYO CO., LTD.